

高齢者雇用安定法改正に伴う市の定年制度の対応は

あやせ市民会議 石井 茂



の雇用延長制度を設けることが求められる。このような状況下において、現在市で行っている役職定年制度は見直す必要がある。また、今後増加が見込まれる再任用職員を対象とした人事評価制度を導入する考えは、

答 役職定年制度は職員の新陳代謝を図り、組織活動の増進を目的に平成十年から導入したが、今後の役職定年者の増加等を考慮すると人事配置的に制度維持は困難と判断し廃止を進めていく中で考えていきたい。

今こそ米空母の母港返上をを求める大事な時期では

日本共産党 松本 春男

問 現在の市職員の定年年齢は六十歳である。定年後、希望する者には再任用制度を活用しており、管理職には役職定年制度も設けられている。また、平成十七年度には本市でも職員の人事評価制度を導入する。しかし、平成十八年度から高齢者雇用安定法の改正法が施行され、年金の受給開始年齢に合わせて平成二十五年までに段階的に六十五歳まで

が、世界戦略見直しの中で、年内に通常型空母一隻、二〇〇八年に横須賀を母港とする通常型空母キティホークの退役を予定している。今こそ、

空母の母港返上をを求める大事な時期だが、米軍の発表をどう考えるか。横須賀市長は、後継艦には通常型空母を求め、原子力空母に反対しているが、この発言をどうとらえるか。また、この世界戦略では、海軍と海兵隊の混合部隊や西太平洋地域における空母二隻体制など基地機能の強化が懸念されるが、どう考えるか。

答 キティホークの後継艦については、原子力空母を配備する方針が表明された後、米国防長官が何ら決



市の鳥「カワセミ」

4月3日、晴天に恵まれ、早朝から大盛況となった今年最初の朝市。朝市は、4月から12月までの第1日曜日、午前6時30分から文化会館駐車場で開催されています。

快速急行の長後駅停車と湘南台駅へのバス路線を

みらい政策会議 山田 晴義

問 南北に細長い本市の北の玄関口は四駅あるが、南の玄関口として長後駅だけで、深谷、落合、上土

神奈中のバスが吉岡工業団地から葛原経由の路線で上下五十六本と綾瀬車庫から用田経由の路線で上下五十三本を平日に運行しているが、経路が遠いため本市からの利用はほとんどないようである。しかしながら、湘南台駅は鉄道結節点であり、今後の市民ニーズの高まりによって新たなバス路線を検討していく。(他に「路線バス網の整備とコミュニティバス運行について」を質問)

十二年後の綾瀬市はどのような姿になっているか

清水 勝利

問 市長になって初めての予算編成に当たって、まっしぐらに新しい色を市政に盛り込み、市政への思いを十分に反映させたものと思う。自らの任期を三期十二年とする条例を制定したことから、ただ無造作に変革するのではなく、その十二分の一の子算を編成したととらえている。任期に区切りをつけて市政に臨むという事は、市長になる前に抱いていた自分のビジョンが十二年あればやり切れるという数値目標であると考えられる。十二年のうちにやり切る政

市の姿はどのようなものか。

答 市長の任期については、市政全般にわたる諸施策を立案し、その成果を具現化するには一定期間が必要なことだから、三期までとしたものである。一期目は、市民生活重視の地に足の着いた行政運営に努め、二期目は、分権の中で本市としての確固たる存在を示し、住み続けたいま

エコロップセンターに対する市の基本的な考えは

神奈川ネット 渡部 市代

問 (株)エコロップセンターは昨年、前神奈川県知事が社長となって立ち上げたもので、事業内容は、横浜、川崎を除く県下三十五市町村の一般廃棄物と産業廃棄物を一カ所に集め、再資源化処理を行うものである。建設予定地は、県最西端の山北町にある広大な砂利採取跡地である。足柄茶の生産地である山北町にとつ

神奈川県ごみ処理広域化計画により、大和、綾瀬、海老名、座間で構成する大和高度ブロックにおいて平成十九年度までに広域化実施計画を策定することになっている。こうした中、三首長会議を開催し、高度清掃施設組合の一号炉の更新などエコロップ構想を含めた今後の方向性を協議した。その中で、エコロップ構想は県の関与が極めて弱く、民間会社のみでの組織体制であり、事業の成立性、継続性等が不明確であることから、エコロップへの処理委託でなく、一号炉を更新することで一致している。(他に「効果あるコミュニティバス試験運行のあり方について」「環境啓発事業について」を質問)



満開の桜越しに見る綾瀬タウンヒルズ